

お久しぶりです 皆様



遠藤 利子先生



福島へきて 新しい仲間が 増えました

同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私は九里学園に三十三年間在職させて頂きました。その間皆様からたくさんの思い出を頂き、私の貴重な財産となつていきます。どれもこれもすべてが楽しい思い出です。私は退職後間もなく、福島市に転居しました。米沢ではたくさんの方に声をかけていただきましたが、こちらは誰一人知る人もありませんでした。こちらから積極的に出て行くとは皆様親切で、色々な方と知り合いになります。

今はいけばなと日本画を楽しんでいます。いけばな教室に通う他、交代で花をいけ市民の方に見て頂いたり、老人施設と一緒に花をいけて、その喜ぶ笑顔に元気を貰っています。日本画も発表会が年に

五回もあり、合間をぬって絵筆を持っています。いずれも自分の性格に合致し、試行錯誤しながらの楽しい時間です。

また足腰の老化防止に体操サークルとアクアビクスにも顔を出し、お茶の仲間が増えました。またウオーキングのイベントにも参加して楽しんでいきます。転居後間もなく、縄文遺跡を探訪する集いに初めて参加し、すっかりはまってしまいました。知らない街並みを楽しみ、知らないことを知る、そんな所が足を鍛えると共に楽しいことです。

毎日こんな日々の繰り返しですが、あつという間に時間が過ぎてしまいます。「お茶」は大好きですので、お近くに御出での節は、どうぞ声をかけてください。お待ちしております。

女子ジャンプ 小浅星子さん来校



女子ジャンプスキーツ選手、小浅星子さんが国内大会が終了した平成二十四年三月に実家に帰省された際に、校長先生のお誘いで母校へも足を運んでくださいました。お忙しい中での慌ただしい来校でしたが、懐かしい先生方との再会もあり話が弾みました。高校時代の練習は、もっぱら陸上競技部と一緒にでしたが、陸上部よりハードなメニューを平気でこなしていたそうです。今でも飛ぶのは怖いそうですが、飛んだ時の爽快感はそれは気持ちが良いと笑っていらつしゃいました。今は、アルバイトをしながらの競技生活ですが、まだまだ飛んでいたい、出来るまでやりたいと意欲を語ってくださいました。

一 成 長

顧問 鈴木 幸 英

私たちのモットーは「心をひとつにする・応援されるチームになる・人として成長する」ことである。

短い練習時間の中で、より早く走り、受けやすいボールを投げ、的確にシュートする。時々失敗する時もあるが、それは自主トレで修正してゆく。厳しく辛いですが、仲間と一緒に耐えられる。結果は、試合に表れる。先生や保護者や友人たちに支えられていることに感謝しながら、充実した日々になりたい。部員みんな練習に励んでいき

先輩が築いてくれた「九里女子バスケット部の歴史と伝統」のためにも！



女子 バスケットボール部

